

やるか、 やられるか



東郷 潤

悪と戦わなければいけない、と信じている人々は、世界中に無数にいます。



ある日、正義を愛する人達が、誰かを悪だと思って、攻撃を始めました。



正義の戦いに勝つために、もちろん、他の人にも呼びかけます。





なんだ、お前は悪の味方か？
ならば、お前のことも攻撃するぞ

あ、一緒に戦います



彼らは次々に、他の人々にも呼びかけました。悪との戦いには、何が何でも勝たなければいけません。



誰も殺されたくはありません。戦う人は、こうして、どんどんと増えていきました。

お分かりでしょうか？ 善か悪かという錯覚が支配する世界では、善でなければ悪。だから・・・

やらかなきゃ、

僕は、イジメなんか
出来ない

戦争になんか
協力しないわ！



やられます

じゃ、お前のことを
いじめてやる

ならお前たちは敵だ



このため、苛めや虐待や戦争に協力するのは簡単でも、止めることはとても難しいのです。

もしあなたが、
やることも / やられることも、
お嫌なら、

善悪の錯覚の打破へ
ご協力ください

銃口を突きつけられる前に



あとがき —絵本「やるか、やられるか」

善悪という考え方／言葉は、本当に様々な錯覚を生み出します。そして、これらの錯覚は人類の長い歴史の中で、多くの悲劇をもたらして来たと考えることが出来ます。(詳細は、下記WEBの絵本集、 弊著「善悪という怪物」をご参照ください)。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011